

京都市考古資料館周辺の近代建築散策

<http://www.kyoto-arc.or.jp>
(公財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



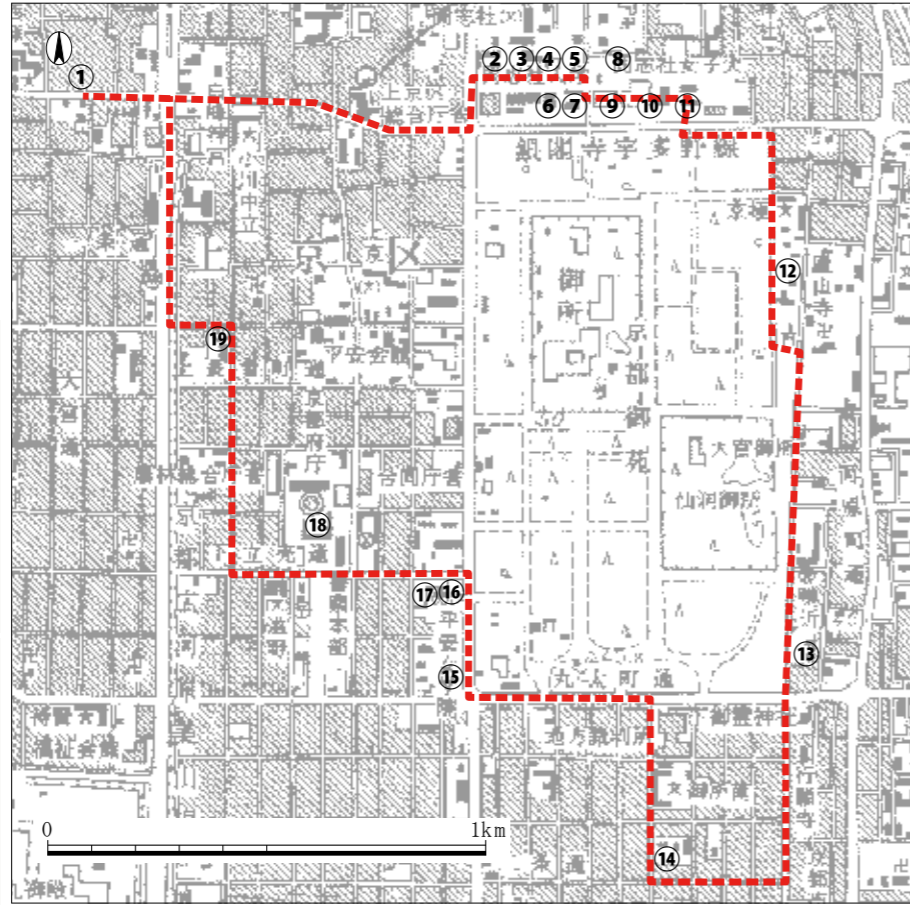
① 京都市考古資料館
大正3年(1914)
京都市登録有形文化財
(上京区今出川通大宮東入)



② 同志社大学彰栄館
明治17年(1884)
重要文化財
(上京区今出川通鳥丸東入玄武町)



③ 同志社大学礼拝堂
明治19年(1886)
重要文化財
(上京区今出川通鳥丸東入玄武町)



京都市考古資料館から京都御苑周辺の近代建築散策コース

モダニズム建築の先駆的作品といわれる京都市考古資料館は、本野精吾が設計し、大正3年(1914)に竣工しました。翌年に西陣織を展示する西陣織物館として開館しましたが、その後、西陣織物館は、昭和51年(1976)に現在の西陣織

会館へ移転、建物は昭和53年(1978)に補強改修工事が行われ、翌年に京都市考古資料館として生まれ変わりました。振り返れば建物は2014年で築百年、2015年は西陣織物館が開館してからちょうど百年目を迎えます。

①京都市考古資料館を含む周辺には、明治・大正から昭和初期にかけての近代建築がいくつか現存しており、ここ西陣から東方の京都御苑周辺にある近代建築を巡る散策コースをご紹介します。京都市考古資料館から今出川通



④ 同志社大学ハリス理化学館
明治23年(1890)
重要文化財
(上京区今出川通鳥丸東入玄武町)



⑤ 同志社大学クラーク記念館
明治26年(1893)
重要文化財
(上京区今出川通鳥丸東入玄武町)



⑥ 同志社大学有終館
明治20年(1887)
重要文化財
(上京区今出川通鳥丸東入玄武町)



⑦ 同志社大学致遠館
大正5年(1916)
未指定
(上京区今出川通鳥丸東入玄武町)



⑧ 同志社大学アーモスト館
昭和7年(1932)
国登録有形文化財
(上京区今出川通鳥丸東入相国寺前町)



⑨ 同志社大学啓明館
大正9年(1920)
国登録有形文化財
(上京区今出川通鳥丸東入相国寺前町)



⑩ 同志社女子大学ジェームス館
大正2年(1913)
国登録有形文化財
(上京区今出川通鳥丸東入相国寺前町)



⑪ 同志社女子大学栄光館
昭和7年(1932)
国登録有形文化財
(上京区今出川通鳥丸東入相国寺前町)



⑫ 同志社大学フレンドピースハウス
明治20年(1887)
国登録有形文化財(非公開)
(上京区寺町通石薬師下る染殿町)



⑬ 新島襄旧邸
明治11年(1886)
京都市指定有形文化財
(上京区寺町通丸太町上る松蔭町)



⑭ 京都ハリストス正教会
明治36年(1903)
京都市指定有形文化財
(中京区柳馬場通二条上る六丁目)



⑮ 大丸ヴィラ
昭和7年(1932)
京都市登録有形文化財(非公開)
(上京区鳥丸通丸太町上る春日町)



⑯ 日本聖公会聖アグネス教会聖堂
明治31年(1888)
京都市指定有形文化財
(上京区鳥丸通榎木町上る堀松町)



⑰ 平安女学院明治館
明治27年(1894)
国登録有形文化財
(上京区下立売通鳥丸西入五丁目町)



⑱ 京都府庁旧本館
明治37年(1904)
重要文化財
(上京区下立売通新町西入藪ノ内町)



⑲ 旧京都中央電話局西陣分局
大正10年(1921)
重要文化財
(上京区油小路通中立売下る甲斐守町)

を東へ15分ほど歩くと同志社大学今出川キャンパスがあります。鳥丸通沿いの西門から入ると、②彰栄館・③礼拝堂・④ハリス理化学館・⑤クラーク記念館・⑥有終館・⑦致遠館など、明治・大正期に建てられた重要文化財や国登録有形文化財のレンガ造建物が建ち並び、現在も学校施設として活用されています。さらに東隣の同志社女子大学を含むキャンパス内にも、⑧アーモスト館・⑨啓明館・⑩ジェームス館・⑪栄光館など大正期から昭和初期の建物が建ち並び、京都御苑の北側に独特のキャンパス景観を醸し出しています。

ここから今出川通に出て、京都御苑北東角を右折して南へ少し歩くと、東側に⑫同志社大学フレ

ンドピースハウスがあり、さらに南下して左折、寺町通に出て南行すると東側に⑬新島襄旧邸が建っています。寺町通を少し南行して二条通を西へ右折し、柳馬場通を右折すると東側に⑭京都ハリストス正教会があります。

ここから北方の丸太町通へ出て左折し、西へ少し歩くと鳥丸通交差点があります。この交差点のすぐ北、西側に大きく繁茂した木々に囲まれた敷地に⑮大丸ヴィラがあり、鳥丸通を北進すると下立売通の南西角には⑯日本聖公会聖アグネス教会聖堂、さらに左折して下立売通を西へ、室町通南東角の平安女学院校内には⑰平安女学院の明治館・昭和館があります。そ

のまま西へ少し歩けば右手正面に⑱京都府庁旧本館が見えてきます。京都府庁前の下立売通を西へ、油小路通を右折して北へ少し歩くと、中立売通の南西角に、外壁にユニークなレリーフがある⑲旧京都中央電話局西陣分局が建っています。

今回ご紹介した散策コースは、京都市考古資料館から時計回りで旧京都中央電話局西陣分局までが約6.2kmで約2時間、さらに堀川の中立売通に架かる明治6年(1873)の堀川第一橋を渡って京都市考古資料館まで戻れば約7kmのコースです。ただし、建物は大学構内など自由に見学できるもの以外に、非公開や見学許可が必要なものもありますのでご注意ください。(梶川敏夫)